令和4年度 行財政改革推進計画について

新たな効果額 2.629百万円 ※全会計・事業費ベース

I 簡素で活力ある市役所の構築

効果額 102百万円

【主な取組内容】

◇簡素で効率的な人員体制構築の推進等

51百万円

職員のワーク・ライフ・バランスの推進や健康保持を図るため、 令和4年度から令和6年度までの3ヵ年で段階的に「令和3年度 比10%削減」を目指して、時間外勤務の縮減に向けた取組みを 推進する。

◇学校事務のあり方

51百万円

市立学校における学校事務共同実施の更なる推進を図ることで、 より効率的・機動的な学校事務体制を構築するとともに、業務 標準化や OJT 実施による人材育成・資質向上等を目指す。

◇DXの推進

「北九州市DX推進計画」に基づき、デジタル技術の徹底活用に より、DX(デジタル・トランスフォーメーション)を推進する。 まずは、市民サービスや市役所業務を抜本的に見直すとともに、 地域全体の DX につなげていく。

- ・ 市民サービスの向上…手続きのオンライン化の推進、 手数料のキャッシュレス化など
- 業務の効率化……A I ・ R P A 等・ローコードツールの活用、 データの利活用など
- ・ 職員の働き方改革 ……テレワークの推進、オフィス改革など

Ⅱ 外郭団体改革

【主な取組内容】

◇ミッションの遂行状況の評価

各団体のミッション遂行状況を評価する。また、外部の視点から評価内容 を検証する。

◇組織・人員体制の効率化

団体の自主財源で長期的に人件費を確保できることを前提に、各団体の 特性に合わせた運用を図る。

※その他、外郭団体の補助金・委託料の精査、組織・人員体制の効率化、 人材育成などに取り組む。

Ⅲ 官民の役割分担と持続的な仕事の見直し

効果額 2,527百万円

【主な取組内容】

《官民の役割分担》

◇民間事業としても行われている業務の見直し

183百万円

- 保育所 (畑保育所の統合)
- ・ 障害福祉施設(引野ひまわり学園の社会福祉法人への譲渡など) など

《持続的な仕事の見直し》

◇官民の役割分担に関する見直し

37百万円

- •現代美術センターCCA 北九州の事業終了(令和3年12月)及び美術館への 事業の一部承継 など
- ◇事業内容等の見直し(各局における事務事業の自主的な見直し等)

1.853百万円

(歳入の確保:580百万円)

- ・広告・ネーミングライツ事業の拡充(提案型ネーミングライツ導入分含む)
- 都市公園内における自動販売機設置基準の見直しによる歳入の確保
- ・公募設置管理制度(Park-PFI)の導入による歳入の確保 など

(歳出の見直し:1,273百万円)

- ・公の施設の管理運営を行う指定管理者の更新時の業務の見直し
- ・健康マイレージ事業の見直し など
- ◇特別会計の剰余金の活用等

454百万円

Ⅳ 公共施設のマネジメント

【主な取組内容】

◇施設分野別実行計画の推進

・次期4ヶ年行動計画の策定(令和4~7年度の削減予定床面積)及び取組みの実施

年 度	R4	R5	R6	R7	4ヶ年計(公表値)
面積(㎡)	A 900	▲ 7,800	▲ 5,300	▲ 12,400	▲ 26,400
施設	• 市営住宅	・市営住宅 ・足立青少年の家	・市営住宅 ・修多羅小学校 ・青少年キャンプ 場 ・城山庭球場	・市営住宅 ・小森江東又は西小学校 ・門司青少年体育館	

- ・生涯学習総合センターと男女共同参画センターの集約の取組みに着手
- ・青少年の家集約に係る検討の推進
- 青少年キャンプ場の廃止に向けた取組み

◇モデルプロジェクトの推進

門司港地域、大里地域の再配置計画の推進